

場面②駿河の国・宇津の山――

訳13 ①行き行きて、駿河の国にいた  
り②ぬ。

問一 傍線部①のように同じ動詞を重ねて使っている場合はその動作が継続していることを表す。傍線部①の訳として適切なものは？

ア 休み休み行つて  
イ どんどん行つて  
ウ 歩き疲れて

問二 傍線部②は次の二つの意味を持つ助動詞だ。ここではどちら？

ア 完了（くしてしまった・くた）  
イ 強意（きつとく）

※下に**推量の助動詞**がある場合のみ、強意になる。

例 花咲きぬべし（花はきつと咲くだろう）

→

この「べし」は**推量（くだろう）**